

田園都市

頼れるドクター

2023-2024 版

私たちの街の
ドクター

157名

特集1 安心のための配慮がうれしい

患者の不安や怖さを減らす
工夫をしているクリニック

特集2 通しやすい工夫がいっぱい

スムーズな受診に
取り組むクリニック

“みんなのかかりつけ医事情”大調査

病気を予防し、元気な毎日を過ごすために
血力アップを始めよう！

マンガでわかる
メンタルヘルスとの
向き合い方

特長や方針を徹底取材！
地域の病院紹介

・玉川病院

検査・治療レポート
医療トピックス

乳がん検診、片頭痛の治療、
発達障害、HPV ワクチン接種、
歯周病、矯正治療

Doctors File

ドクターズ・ファイル
ドクターズ・ファイル 特別編集

物理的な刺激や全身性など原因はさまざま

口内炎

まずは知りたい！

口内炎とは

頬や唇の内側、舌、歯茎に発生する炎症性疾患です。原因はさまざまで口の中を噛むことや、欠けた歯による物理的な刺激によるもの、金属のかぶせ物によるアレルギー反応もあります。また体全体が由来となるものでは免疫力低下やストレスのほか、服用する薬の副作用により発症することもあります。ほとんどは痛みも軽く1週間程度で治癒に向かいますが、中には重篤な疾患が隠れていることもあり注意が必要です。



二子玉川OM歯科
クリニック

岡村 泰斗 院長

関連記事 P322

なぜ口内炎が発症するのでしょうか？

口腔粘膜への物理的な刺激や全身性の疾患のほか、食べ物や金属アレルギーなど原因は実にさまざまです。例えば降圧剤や抗てんかん薬などの薬剤の副作用で発症するケースや、花粉症の人が特定の野菜や果物を食べた後、食べ物と直接触れた唇や舌、喉にかゆみや腫れなどが起こり、それが口内炎となるケースもあります。また気づかないうちに欠けた歯やかぶせ物、入れ歯の器具が頬の内側を傷つけていることも。全身性由来だと病気ではなくてもストレス、睡眠、栄養不足でも口内炎が発生するとされています。さらにヘルペスや接触・飛沫感染によるウイルス性のものやカンジダなどの細菌が原因となる場合もあります。そのため気になる症状があれば受診して、原因を特定することが大切です。

適切な診断と治療が大切
長引くときには放置せず
専門科の受診を

金属アレルギーが原因になることもあるそうですね。

歯科治療では、詰め物やかぶせ物、部分入れ歯のばねやブリッジ、矯正装置などさまざまな治療で金属が使用されています。中でもアレルギーの原因として比較的多いのは保険診療で使用されているパラジウム合金です。歯科金属アレルギーの場合は、歯科治療を行った歯のすぐそばの粘膜に口内炎ができることが多く、舌の一部がひりひりとする舌炎、唇全体が腫れる口唇炎や口角がただれる口角炎など口周りの症状だけでなく、全身の皮膚炎が現れることもあります。手のひらや足の裏に水泡や湿疹が生じるのも菌性病巣感染が原因の一つとされますが、ごくまれに金属由来の場合も。歯科金属アレルギーは全身にいろいろな症状が出ることもあるので、リスクがあることを理解しておいてください。

口内炎はどのように治療を進めていくのでしょうか？

さまざまな原因が考えられるので、まず大切なのが問診です。歯の治療歴はもちろん、基礎疾患の有無や食生活、生活習慣まで聞き取ります。次に口腔内の状態だけでなく皮膚症状や薬剤による副作用はないかなど、全身の状態についてもさまざまな視点で診察します。また発症している部位を、口腔がんなどへ進んでしまう可能性に注意しながら拡大鏡で観察。もしもその可能性があるときには、病院で精密検査を受けてもらい鑑別診断します。同時にパッチテストや血液検査などで原因となっている物質を特定し、それが歯科治療に使用されている金属であれば取り除き、代わりの素材を用いて補綴治療を行います。

受診する診療科やそのタイミングも教えてください。

口内炎には多くのタイプがありますが、それらにかかわらず1週間程度で自然に治らないのであれば一度、歯科口腔外科を専門とするクリニックを受診してみてください。内科を受診する人もいますが、口内炎は口腔内の疾患ですので歯科の診療領域です。口内炎は全身疾患との関連も深いので、口の中だけでなく全身との関わりまで診ている歯科口腔外科が適しています。最近では若い人に口腔がんが多く発症しており、患者数や死亡者数が増加傾向に。口腔がんは進行すると食事や会話ができなくなったり、手術によって顔が変形したりする恐れもありますから、口内炎がなかなか治らないときは迷わずに受診してください。



1. なかなか治らない口内炎は歯科口腔外科での検査が重要に 2. 口内炎の原因には、歯科金属アレルギーもあるという

Doctor's Advice

セルフケアの意識を持って生活習慣の見直しを

軽く考えてしまいがちな口内炎ですが、どこを受診していいかわからず、そのままにしている人も多い疾患です。特に問題もなく治まればいいのですが、たまにがんなど重篤な疾患に発展する可能性もあり、軽く考えずに歯科口腔外科診療の経験を積んだ歯科医師に診てもらってください。受診をきっかけに、ご自身の口の中をよく観察する癖を持ててもらえれば良いと思います。

Profile

岡村 泰斗院長

1997年東京歯科大学卒業。同大学大学院でオーラルメディシン学を修める。同大学市川総合病院オーラルメディシン・病院歯科学講座・口腔外科学の非常勤講師となり、若手歯科医師の臨床・研究指導のほか、専門である口腔粘膜治療で複数のクリニックを支援。2020年3月に二子玉川の地に歯科医院を開業。オーラルメディシンの視点から治療を行う。

二子玉川OM歯科クリニック で受けられる診療

口腔内のトラブルには全身的な要因がさまざまに関連することから、同クリニックではその医学的背景までを考慮した「オーラルメディシン」をベースに診断と治療を行っている。診察では食事や生活習慣のヒアリングなどの問診に力を入れるほか、パッチテストや血液検査により原因の特定に努める。金属アレルギー由来の口内炎と診断した場合には、保険診療でCAD/CAMシステムによるレジンのかぶせ物の治療も行っているが、「私のこれまでの臨床経験上、金属アレルギー由来はむしろ少ない印象。多くは物理的な刺激や生活習慣などが原因のものです」と岡村院長。今

では効果が期待できる口内炎の治療薬も複数出ており、早期改善が望めるそう。もしも重篤な症状になる可能性があれば、精密な検査が行える提携の大学病院を紹介することも可能だという。



▲患者一人ひとりと対話をしながら治療を進めていく

二子玉川 OM 歯科クリニック

歯科口腔外科／歯科／小児歯科

岡村 泰斗 院長

Okamura Taito

口腔疾患と全身疾患の関連を重視し 全身に目を向けた診断・治療を行う

二子玉川駅から徒歩8分、世田谷区玉川3丁目の一角にある『二子玉川OM歯科クリニック』は、誰もが気軽に受診できる街の歯科医院をめざして、令和2年に開業した。岡村泰斗院長が実践するのは、口腔疾患と全身疾患の関連性

を重視しながら、包括的な診断・治療を行う「オーラルメディシン」という考え方。長年オーラルメディシンについて研究を続けてきた岡村院長が、その経験と技術を駆使して、口腔疾患に潜むがんをはじめとした重大な疾患を見逃さ

ないよう努めている。「単なる口腔内トラブルでも、実はそこには糖尿病や口腔がんといったさまざまな要素が複合的に絡み合っていることもあります。患者さんの中には基礎疾患を持っている方も多く、他の医科と連携しながら広く診ていかなければならないと思っています」

地域に根差した治療を行う同院は、外来診療に加えて、通院が困難な患者のもとへ歯科医師が赴く



1997年東京歯科大学卒業。同大学大学院でオーラルメディシン学を修め、その視点を日々の診療に取り入れている。同大学市川総合病院オーラルメディシン・病院歯科学講座の非常勤講師として若手歯科医師を指導。また、口腔粘膜疾患の治療で複数の歯科医院を支援している。母校の建学の精神「歯科医師たる前に人間たれ」を大切にしている。

編集部
eyes

気さくで明るい人柄の岡村院長。患者さんが緊張すると症状をうまく伝えられないことがあるため、こまめな声かけを意識しているそうです。「受付から治療は始まっています」と話し、かかりつ

け医の立場から患者さんの変化にいち早く気づくことができるよう心がけていると教えてくれました。こうした細かな気配りが、患者さんの安心感につながっているのだと感じました。



1 個室の診察室で、院長とスタッフに相談しやすい雰囲気だ 2 口腔内スキャナーを導入。歯型を採る際の負担軽減にも配慮する 3 精密な治療を追求し、先進のエックス線撮影機器を完備



訪問診療にも取り組んでいる。コンパクトなエックス線機器やスキャナーを活用し、訪問先でも外来診療に近いレベルの治療が可能。自宅や施設で病気の療養をしている患者は、歯の治療の優先度が低い傾向にあることから、歯科医師側から口腔内環境を整える重要性を積極的に伝えることで、患者や周囲の人々の意識改革につなげたい考えだ。

口腔がんや帯状疱疹など 重大なリスクが潜む口腔内炎 専門家の検査で疾患を早期発見

口腔粘膜を専門とする岡村院長。中でも力を入れているのは、誰もが一度は経験するであろう、口腔内炎だ。

「口腔内炎だと思っていたら、実は口腔がんだったということがあります。気づかないまま時間がたつてしまい、手術や長期の治療が必要になることも。早期発見するためには、経験を積んだ専門家による診察が欠かせません。私はこれまで口腔外科でがん患者さんを多く診てきましたので、安心して検査を受けてもらいたいと思います」

口腔がんだけでなく、帯状疱疹などの内科疾患でも口腔内炎に似た症状が現れるという。入れ歯や歯の治療を経験した人は、それが原因で口腔内炎を繰り返すこともあ

力を入れている 治療・検査

岡村院長の専門性の高さを生かし、口腔内の粘膜疾患の検査・治療に力を入れている同院。特に、口腔内炎は口腔がんや内科疾患の可能性もあることから、1週間たっても治癒しないときは検査を受けてほしいと呼びかける。検査については、視診・触診の他、非接触型の蛍光観察装置を使った口腔内の撮影など、先進機器を取り入れることで、より的確な診断ができるよう尽力。そして、がんや疾患が見つかった場合には、連携している大学病院や総合病院を紹介し、速やかに治療を始められる体制を整えている。「軽く考えて自己判断をせずに、専門家のもとで原因を探ることが早期発見の第一歩です」と院長。



蛍光観察装置を用い、低侵襲な口腔がんの検査につなげている

り、自身の健康状態について知るためにも、放置せずに検査を受けることが重要だ。

同院では、口腔外科処置にも力を入れており、虫歯や歯周病を予防する観点から親知らずの抜歯も行っている。治療前のカウンセリングや検査を丁寧な時間をかけて行い、患者のライフスタイルにも配慮しながら、抜いたほうがいいと判断した場合には、患者が納得できるようわかりやすい説明を心がけている。

「患者さんが些細なことでも質問できるクリニックが理想ですね。引き続き、口腔内の健康はもちろん



4 対話を大切にしなが、全身を包括的に診ることを心がける

ん、地域の皆さんの健康を総合的に見守っていきたいと思います。いつでも相談に来てください」

DATA



Tel 03-6411-7614
Add 世田谷区玉川3-36-13
エクセラビル1F
Parking 無
Closed 木/金/日

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00~14:00	●	●	●	—	—	●	—	○
15:30~19:30	●	●	●	—	—	●	—	—

※○月・火・水・土曜に祝日が重なる場合の、午前のみ診療

この版は19時以降



Map P303 A-3

関連記事 P074

